

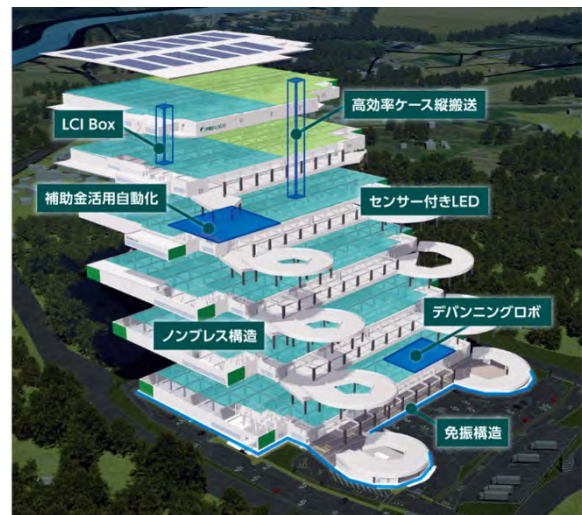
プロロジス、ロボフレンドリー物流施設 「プロロジスパーク八千代2」で自動化ソリューション提供 ～重労働削減で、働き方と物流オペレーションを改革～

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役会長 兼 CEO:山田 御酒)は、千葉県八千代市で運営するマルチテナント型物流施設「プロロジスパーク八千代2」において、物流業務の自動化を推進し、働き方の改善につながる新たな取り組みを開始します。同施設は、自動化ニーズを見据えた「ロボットフレンドリー」な賃貸用物流施設として設計されており、その特長を活かすことで、物流業界が直面する課題の解決を加速させます。

■ 概要 : 物流不動産提供を超えて、ロボット・自動化ソリューションを提供する異例の取り組み

「プロロジスパーク八千代2」は、ロボットや大型機器の導入を前提としたノンブレース構造や、災害時の機器損傷を防ぐ免震構造を採用するとともに、高負荷機器の稼働に必要な特別高圧電力を受電するなど「ロボットフレンドリー」な賃貸用物流施設として設計されました。また、プロロジス初の取り組みとして、無人フォークリフトや AMR(自律走行搬送ロボット)のフロア間の縦移動を可能にするインターフェイスも備えています。

このたびプロロジスは、物流の自動化をさらに後押しする施策として、ロボット・自動化ソリューションの提供を開始します。一般的な賃貸用物流施設では、施設内専有部における自動化は入居企業各社が行いますが、本取り組みでは施設オーナーであるプロロジスが機器を提供する点が大きな特徴です。これにより、カスタマーや業界が抱える課題の解決促進を図ります。



● バンニング/デバンニングロボット「RockyOne」導入による重労働削減

XYZ Robotics 社製バンニング(コンテナへの積み込み)/デバンニング(コンテナからの荷下ろし)ロボット「Rocky One」を、「プロロジスパーク八千代2」の1階に設置します。2026年2月以降、同施設1階に入居し、利用を希望する企業が自由に利用できるようになります。

夏季には高温、冬季には低温となるコンテナ内での重量物の積み込み・荷下ろし作業は、作業者の身体的負担が大きく、入居企業にとっては、作業のきつさが離職率の高さや雇用確保の足かせにもつながっており、ロボット導入による負担軽減メリットは大きいと言えます。



一方、自動化による投資対効果を重視する企業では導入に至らない場合もあります。プロロジスが機器を提供することで、入居企業の作業効率化、雇用課題の解決をサポートするとともに、倉庫における働き方の改善を促進します。また、最上流工程である入荷時デバンニングを自動化することで、その後の下流工程における自動化推進にもつなげます。

● EC 物流に適した垂直搬送機導入でオペレーション標準化

「プロロジスパーク八千代 2」の 4 階から 6 階に入居する EC フルフィルメント代行、株式会社 STOCKCREW(本社:東京都中央区、代表:中村慶彦)の専有部において、天井・床に開口を設けるなどの大規模改修工事を行い、小口荷物の搬送に長けた高出力型の垂直搬送機を複数台導入します。「プロロジスパーク八千代 2」のようにランプウェイを備えた物流施設では、各階にトラックが着車可能であるため、倉庫内に垂直搬送機等が付帯しないケースがほとんどです。本件では、プロロジスが縦搬送機能という建物インフラを整備し、STOCKCREW が自動化設備の導入・運用設計を行うことで、小ロット・高頻度の出荷に耐え得る複層階型の EC 物流オペレーションを構築し、効率性・機動性の向上およびオペレーションの標準化を図ります。

なお、本事業は、プロロジス、STOCKCREW、代表荷主企業の三社連名で、経済産業省による令和 6 年度「持続可能な物流効率化実証事業費補助金(物流効率化に資する連携実証事業)」に申請のうえ採択されており、同補助金は STOCKCREW が導入する自動化設備に係る実証事業に活用されます。

■ 背景と狙い：倉庫内での働き方を変える取り組みで、働く人と入居企業を支援

プロロジスの物流コンサルティングチームでは、カスタマーの自動化支援や、施設計画・人員配置の最適化等に取り組んでおり、多様な業種・業態の物流オペレーションにおける課題に精通しています。中でも、広範な業種において、荷下ろし作業の負荷の高さが物流オペレーションのボトルネックとなっていることから、プロロジスが主導する自動化推進の第一歩としてデバンニングロボットの提供を行うこととし、また、社会生活に欠かせない EC 物流における自動化の重要性を踏まえ、同分野での取り組みを決定しました。

プロロジスは、物流施設における働きやすさや持続的な事業推進を重視し、これまでも免震構造の採用や共用部の充実、グリーン電力の活用等、業界に先駆けて新たな施策に取り組んできました。

このたびの自動化ソリューションを提供により、施設開発・運営にとどまらず、カスタマーおよび物流業界が直面する課題の解決に貢献します。また、ロボット導入による効率化のみならず、物流施設で働く人の環境改善を実現することで、持続可能な物流の実現をめざしてまいります。

■ バンニング／デバンニングロボット「RockyOne」内覧会

プロロジスは、「プロロジスパーク八千代 2」に実装されたバンニング／デバンニングロボット「Rocky One」の展示およびデモンストレーションを行います。

- 日時:2026 年 2 月 5 日(木)・6 日(金) ①11:00~ ②14:00~(約 60 分/各日 2 回、計 4 回)
- 対象:荷主企業様/物流会社様
- 詳細・申込:プロロジス ウェブサイトより
<https://www.prologis.co.jp/news-research/press-releases/260120>

■ プロロジスパーク八千代 2 について: <https://www.prologis.co.jp/portfolio/kanto/yachiyo2>



本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム

<https://prologis.form.kintoneapp.com/public/inquiry-media>